

大正十三年十月三日

郵船海友會

日本郵船株式會社

社長 伴兼米次郎 殿

お童役各位

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a letter or report.

(神戸 永興三商店製)

職業が八百長なりしと云へば客位は定めし不忠誠に思はれんが實は伊東、石井、安田が安田を利用して彼の争議を起さしめたり、然らば何が爲にと言ふに、其處には極めて卑劣なる利己心によりて彼の大逆無道

◎腐員の罷業は八百長なり

罷業が八百長なりしと云へば客位は定めし不忠誠に思はれんが實は伊東、石井、安田が安田を利用して彼の争議を起さしめたり、然らば何が爲にと言ふに、其處には極めて卑劣なる利己心によりて彼の大逆無道

平として之に反對し彼等無道等々の罪を擧げし罪を石井、安田の兩名に負はしめんとするも之が眞實とせば同社の前途を益々危険に導くに至るを以て吾等は斷然に其後新紙の報道は石井、安田を平取締後となし伊東社長は機を見て引退す

遺贈者日本郵船會社社長伊東米次郎氏、副社長石井兼次氏、事務取扱伴安田禎氏、等が相繼ぎて現地位を保持し且つ權勢を伸張せんが爲に今日迄の所謂御主障

日本郵船株式會社 株主諸氏に撒す

封筒 郵便 封筒